

Weekly Report



事務局：460-0003

名古屋市中区錦1-13-19
名錦ビル7F

TEL：052-211-3803

FAX：052-211-2623

MAIL：2760_nagoya@mizuho-rc.jp

URL：http://www.mizuho-rc.jp/

創立：1980年(昭和55年)1月10日

会長：堀 慎治

幹事：田中 宏

クラブ広報委員長：堀田 篤弘

例会日：毎週木曜日PM12:30～

会場：ビルトシ名古屋

2021-22年度

名古屋瑞穂ロータリークラブ

会長のテーマ

「瑞穂ロータリークラブを理解し、

瑞穂ロータリークラブライフを楽しもう」

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-22年度

国際ロータリーのテーマ

奉仕しよう

みんなの人生を豊かにするために

(SERVE TO CHANGE LIVES)

第1989回例会

～疾病予防と治療月間～

クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2021年12月16日(木) 晴 第21回

第3回クラブフォーラム(年次総会)

司会：岡部光邦会場委員

斉唱：「それでこそロータリー」「四つのテスト」

会長挨拶

堀 慎治 会長

皆さんこんにちは、先週は2年ぶりのクリスマス家族例会を開催する事が出来ました。親睦委員会の皆さんご苦勞様でした。孫をはじめ家族がとても喜んでいました。

今週の13日、月曜日は江戸時代から煤払いの日、大掃除の日とされています。これは正月事始め、つまり正月の準備を始める日をきっかけに1年の積もった汚れを落としてから新年を迎える為とか、いろいろの説がありますが、掃除が終わった後は風呂で垢を落とし、その後酒宴で2次会へと、それは年末最後の出社日に掃除をして納会で締めて2次会という今の私たちと変わっていません。12月は我が家でも週末ごとに掃除や物の整理に駆り出されますが、江戸時代から続く伝統を守るべく毎週酒宴と2次会に行きたい気もします。とは言えくれぐれも家庭円満で過ごしていきたいと思います。

来週は今年度最後の例会、納会が開催されます。最近では寒暖の差が激しくオミクロン株も出始めており、お体には充分気を付けて例会に参加して頂きたいと思います。



幹事報告

田中 宏 幹事

- ・次週12月23日(木)に上期納会が18時より八勝館にて行われます。
- ・12月30日(木)と1月6日(木)はR規定により休会となります。
- ・事務局の年末年始の休暇ですが、12月28日(火)～1月5日(水)までとなります。

出席報告

渡邊将之 出席委員

会員71名 出席52名 (出席計算人数55名) 出席率 82.5%

ニコボックス

渡邊将之ニコボックス委員

- ・妻への花、ありがとうございます。 鈴木 伸一さん
- ・海外案件の話ばかりありますが、海外に行けません。 堀 慎治さん
- ・先日のクリスマス例会では、2度も舞台上に上がらせてもらい、ありがとうございました。大嶽さんに私のトナカイコスプレを見てもらえなかったのは少しさみしかったです。 田中 宏さん
- ・日曜日のぎふ美濃月例会60代の部で優勝しました。1年の終わりに良いことがありました。 松田 浩孝さん
- ・12/5で男子ゴルフツアー全試合終了しました。三好カントリーの上井プロはトップ30人が出場できる日本シリーズにも出場し、賞金ランキング28位となりました。また、来年もがんばってくれると思います。 今川 知也さん
- ・日曜日のグランドマンスリー、今年最後の競技ですので!頑張ります!! 杉江 建亮さん
- ・1年間お世話になりました。 渡辺喜代彦さん 森 裕之さん

第3回クラブフォーラム(年次総会)

功労者に対する提案(協議案)

長期ビジョン委員会より提言があり、まとめたものを資料としてお配りしています。スケジュールとしましては、今年度中に定款の内容を変更して理事

会に諮った後、クラブフォーラムにて承認されて運用をして行きたいと思っております。資料裏面をご覧ください。現会員の功労者に対する懸案ということで、対象を毎年9月1日の時点で80歳以上の会員としております。名称はリスペクト例会とし、敬老の日のお祝いということではなく、こういう名称で例会をしたいと思っております。毎年9月の第1例会に実施をして、内容に関してはプログラム委員会と会場委員会が担当いただきます。記念品の予算も少し上げさせていただきます、それを贈呈したらどうかということで、こちらも次年度の9月から実施させていただきたいと考えています。これについて何かご質問・ご意見等はございますか?

質疑応答

ご意見：定款を変更する?

回答：細則も含め全体的に見直して関係のあるところは修正をしていかなければならないと思います。定款と細則両方を見て、合致するような形で上げていきたいと思っております。

ご意見：4番目のビジターフィーとあるが、そのあたり考慮するのか?

回答：現在の所考慮しておりません。

ご意見：長きに渡ってとあるが、何年ぐらいなのか?

回答：もともとの趣旨としてはRCには定年はありませんが、80歳までお元気でクラブに出席いただける会員の方に対して、何かないかと言う思いで長期ビジョン委員会にはかり、いろいろご意見をいただきました。80歳まで出席いただいて、いざやめると言う時にそこで縁を切ってしまうのもいいものか、できれば何かつながりをということでのご提案です。年齢としては、70歳だとまだまだお元気な方が多いですし、80歳が妥当かなと考えております。今まで敬老の日としてやってきましたが、ただ記念品贈呈と挨拶だけでは物足りないのではと感じ、ささやかではありますが、年に1度ぐらいは我々の感謝の気持ちを受け取っていただきたい、そんな例会にしていきたいと思っております。

22-23年度クラブ役員理事(案)：湯澤勇生副幹事

22-23年度クラブ役員理事

会 長	梅村 昌孝	役員	クラブ奉仕委員長	山口 哲司	理事
副 会 長	大嶽 達郎	役員	親睦活動委員長	鳥山 政明	理事
会 長 エレクト	千秋 季頼	役員	研修委員長	星野 一郎	理事
直 前 会 長	堀 慎治	役員	会場委員長	近藤 茂弘	理事
幹 事	湯澤 勇生	役員	会員増強委員長	田中 宏	理事
会 計	鈴木 淑久	役員	職業奉仕委員長	鈴木 実	理事
S・A・A	湯澤 信雄	役員	社会奉仕委員長	松田 浩孝	理事
副 幹 事	本多 誠之		青少年奉仕委員長	村上 学	理事
			国際奉仕委員長	花井芳太郎	理事
			R財団委員長	安井 友康	理事
			長期ビジョン委員長	稲葉 徹	理事

クラブ奉仕委員会：大嶽達郎委員長

上期はクラブ奉仕協会を行いました。また10月の予定でしたLD.Mですが、開催することができませんでした。また1月に第2回クラブ奉仕協会を開催いたします。

出席・ニコボックス委員会：新見光治委員長

上期はコロナ禍の中で多数の方々に出席いただいたと思います。反省点は、出席率の低い方に出席を促すことが出来ておりません。下期では出席頂ける様働きかけをしたいと思っております。報告事項ですが、理事会の決定事項で2022年6月30日までは自動メーキャップということになりましたのでご報告いたします。ニコボックス委員会の方は、多数の方々にご協力いただいております。反省点としては一部お名前の読み間違いなどありましたので、下期では間違いがないようにして参りたいと思っております。

親睦活動委員会：花井芳太郎委員長

上期は、先週はクリスマス家族例会、多数のご参加ありがとうございました。来週が上期納会です。下期は4RC合同例会は中止となりましたが、創立記念例会、春の家族会などありますので、今後の状況にもよりますが滞りなく進めて行きたいと思えます。

プログラム委員会：村瀬俊高委員長

上期はコロナの関係で卓話の実施が不十分でしたが、最近では安定しており、皆様のご協力もいただき卓話も滞りなく依頼することが出来ました。厚く御礼申し上げます。後半も順次予定を入れておりますが、卓話者のご推薦や会員の皆様の中で卓話をしたいというご希望があれば是非ともお知らせを頂ければと思っております。どうぞよろしくおねがいします。

R情報・研修委員会：星野一郎委員長

上期はコロナの関係もあって、なかなか研修が実施できておりませんが、下期は3月24日に入会3年未満の会員を対象にロータリーに対する理解を深める、そして親睦も深める目的で研修を実施したいと思います。わりと最近入会した方が多く、3年未満の方が15名ほどいらっしゃいます。またお知らせいたしますが懇親会を含めた研修を実施したいと思います。

会場委員会：本多誠之委員長

本年度の方針といたしましては、会員やビジターの方々に快適に過ごしていただくという事と、コロナ禍ということでその辺りに配慮した運営を進められました。広い会場を確保するため、会場を探しに苦慮しましたが、下期もほぼ押さえることが出来ました。今後もコロナの状況を見ながら変更していくことになろうかと思いますが、下期も皆様に快適に過ごして頂ける様に工夫して参りますのでよろしくおねがいします。

会員増強及び維持委員会：山口哲司委員長

上期は長野義明さん、中嶋修さん、山本庸平さんの3名に入会いただきました。退会ですが、岩田吉廣さんのご逝去、入江理さんの体調不良で今月いっぱい退会されることになっております。現在会員数は71名となりましたが、11年間60名台が続いておりましたので、下期も70名以上の会員で次年度に繋ぎたいと思っておりますので、また皆様方のご紹介をよろしく願います。

クラブ広報委員会：榎田篤弘委員長

コロナ禍でのウィークリーの有効活用と円滑発行、及び例会の支援の強化で活動して参りました。良かった点は会員の皆様の身近な情報を掲載出来ている点だと思います。下期もより一層皆様の情報を掲載し、知って頂ける様に務めて参りたいと思えます。

職業奉仕委員会：安井友康委員長

上半期でございますが、会長意向で会員の皆様、及び会員企業様の職業奉仕に対する取組のアンケートを送付し、集計、発表いたしております。下半期ですが2月17日(木)職場見学例会を企画しております。当初は中部国際空港の機内食工場でしたが、現在国際線が稼働しておりませんので、急遽、皆様が旅行の時にバッグ等を預けるベルトコンベアの先にある、パーゲジエリアの見学をする企画をしております。皆様のご参加をお待ち申し上げます。

社会奉仕・環境保全委員会：松田浩孝委員長

今期の方針といたしましては、コロナ禍の状況が続きますが、特に子どもにフォーカスした社会奉仕活動を立案・計画・実践していくという事で、上期では前年度地区に資金申請した事案である瑞陵高校IACへのOA機器協賛と記念祭での広報活動の実施を9月に行いました。瑞陵高校から感謝の言葉をいただいております。青少年奉仕委員会と共同ということでございまして、地区から30万円支給いただいて合計60万円でおこないます。来年1月8日に熱田神宮文化殿にて開催されます「第4回熱田子ども将棋大会」ですが、こちらは日本将棋連盟の東海支部が主催です。こちらに協賛を行いたいという事で現在協議中です。予定通り進めば来年4月に将棋大会が催されますので、ご興味のある方は会場にお越しいただきたいと思えます。それから今季事業につきましては長期ビジョン委員会の皆様と協議して、進めていきたいと思えます。

青少年奉仕・RAC・IAC委員会：近藤茂弘委員長

活動報告としましては、瑞陵高校IACへパソコンやプリンターを寄贈することが出来ました。来週ですが、来年のIAC年次大会の準備を学校側と関係者で打ち合わせをしていきたいと思っております。あと皆様にご紹介したい事があります。本日の中日新聞にIACの記事が掲載されています。企業から支援しようということで、生花とフラワーボックスをIACの生徒達が作りそれを販売して寄付するという活動の記事です。ご覧になって下さい。

国際奉仕委員会：鳥山政明委員長

上期は10月にWWFへの参加、11月はボジョレーヌーボ例会への台北延平RCの招致の2つがございましたが、コロナの影響でWWFは4月に延期、台北延平RCの招致については海外との往来が出来ない状態で招致できなかったという状況になりました。今後については3月に台北延平RCの創立記念例会への参加と、6月の国際大会への参加、この2つが予定されております。今後のコロナの状況を注視しながら臨機応変に対応して参りたいと思えます。

R財団委員会：千秋季頼委員長

R財団委員会の方針は、R財団の趣旨を尊重いたしましてクラブメンバーに活動を理解していただくよう努める。或いはR財団の地区補助金制度をクラブに周知・普及に務めるというようなことです。下期もその方針に従って努力をして参りたいと思えます。

米山奨学委員会：市岡正蔵委員長

この委員会は国際奉仕委員会の一環として米山奨学事業という位置付けで活動しております。今年度につきましても前半はコロナ禍でなかなか例会が出来ない状況が続いておりました。会長からの提案で、例会開催時、奨学生が出席した時に例会前に皆さんの前で奨学金を渡すというセレモニーは、皆様と奨学生の距離を近づけたのではないかと考えております。10月には米山月間ということで、周軒君に卓話をしていただけました。親睦・交流に繋がってほしいと思っておりますので下期もこの考え方で進めていきたいと思っております。

長期ビジョン委員会：松波恒彦委員長

本年度まで、5年間務めて参りましたが大した仕事が出来ず、未来に向かっての展望が出来なくて大変申し訳ないという気持ちです。ただ本年度は掘会長からリスペクト例会というような事を実施してほしいと言うことで、取り組みました。そして今回リスペクト例会というものも出来、80歳で引退された方へのリスペクトも出来るという事で大変仕事をしたなと思っております。次年度からは稲葉さんをお願いいたしますので、皆様ご協力よろしく願います。

IAC年次大会実行委員会：近藤茂弘副委員長

来週の月曜日に学校側と打ち合わせをしていきます。よろしく願います。

身近な会員の話題

瑞陵高校IAC

瑞陵高生 花き業界元気に



瑞陵高生 花き業界元気に

長久手 紙箱に生けて販売、寄付も

「フラワーボックスを手渡す生徒ら」
長久手市朝熊下田のありん村で

同クラブは募金活動や国際交流イベントに取り組む。直売所に苗出荷する日進市のフラワーアーティスト伊藤美さん(左)が、同校で指導した縁で今回の支援が実現。伊藤さんが提供した赤やピンクのバラやカーネーションなどを紙箱に生け、十日に一個二千百円で販売した。副部長の二年今井梨緒さん(右)は「花を身近に感じのきっかけに」と話した。

伊藤さんによると、県は菊やバラなど全国有数の産地である一方、花きの購入額は上位ではなく「高校生の作品で花に興味をもってくれれば」と話す。購入した瀬戸市の近藤幸子さんは「年末年始を幸せに過ごせよう」と満足げだった。売り上げの一部は寄付を検討している。(加藤慎也)

瑞陵高校IACの活動が中日新聞に取りあげられました。

コロナ禍でイベントが減り打撃を受ける花き業界を支援しようと瑞陵高校(瑞穂区)インターアクトクラブの生徒十人が、生花のフラワーボックスを四十個製作し、長久手市の農産物直売所「ありん村」で販売した。

例会のご案内

- 今週の行事 12月23日(木) 上期納会
時間：18:00~20:00
場所：八勝館
- 次週 12月30日(木) 定款により休会
- 次々週 1月6日(木) 定款により休会